

# 令和 2 年度 事業報告

市民及び事業所における防火意識の普及啓発及び防火管理体制と危険物の安全管理体制の強化促進を図るため、下記のとおり事業を実施した。

## I 公益目的事業

### 1 防火思想普及啓発事業

市民及び事業所の防火・防災意識の向上を図る目的として、次の事業を実施した。

#### (1) 火災予防啓発事業

ア 秋・春の全国火災予防運動期に、火災予防を市民に広く呼びかけ、火災予防運動啓発ポスターを配布した。 秋季配布事業所 2, 659件 春季配布事業所 2, 646件

イ 北部5署、南部5署で実施の火災予防啓発イベントに協賛、又火災予防運動期間中に各消防署ごとに実施のイベントにも支援し、防火・防災意識の向上を図った。

また、各消防署による小中学校、大型店舗及び駅等において火災予防広報を実施。

#### (2) 少年消防団県外研修事業

団体生活を通じ防火・防災知識と災害時の行動力を習得し、地域防災の担い手を育成することを目的とした、少年消防団活動の一環として消防局と共催し、消防防災関連施設の県外研修活動の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

#### (3) 危険物研修会開催

危険物安全週間に併せ、危険物の安全確保のため、危険物施設事業所管理者及び危険物取扱者等を対象とした研修会を実施した。(年1回) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年11月9日に延期し実施した。 参加者 31名

#### (4) 表彰事業

危険物に対する安全管理と防火対象物における防火管理に努め、特に顕著な功労のあった事業所及び個人の表彰を実施した。

ア 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰 5事業所 3名

イ 公益社団法人さいたま市防火安全協会会長表彰 7事業所 4名

#### (5) 情報誌（機関紙）の発行

ア 消防機関の防火・防災対策等の取り組み記事、消防関係法令の改正解説や各種講習日程など掲載した機関誌「会報19」を発行した。 発行部数 1, 400部

イ 防火・防災の心得を載せた暦を作成した。 1, 800部

#### (6) 住宅用火災警報器促進事業

住宅火災による死傷者の減少及び被害の軽減並びに市民に対する防火意識の高揚を図るとともに住宅用消火器及び住宅用火災警報器の設置促進を支援した。

### 2 講習事業

#### (1) 防火及び防災管理に関する講習会（31回）

ア 甲種防火管理新規講習 年 12回 受講者 1, 118名

イ 甲種乙種同時防火管理新規講習 年 2回 受講者 193名

ウ	防火・防災管理新規講習	年	12回	受講者	840名
エ	防災管理新規講習	年	1回	受講者	101名
オ	甲種防火管理再講習	年	2回	受講者	206名
カ	防火・防災管理再講習	年	2回	受講者	190名
(2) 防火対象物及び防災管理対象物に関する講習会 (3回)					
ア	防火対象物点検資格者講習	年	1回	受講者	35名
イ	防火対象物点検資格者再講習	年	1回	受講者	115名
ウ	防災管理点検資格者再講習	年	1回	受講者	47名
(3) 危険物に関する講習会促進事業 (42回)					
ア	甲種危険物取扱者試験準備講習	年	2回	受講申込み	0名
イ	乙種第4類危険物取扱者試験準備講習	年	15回	受講申込み	6名
ウ	給油取扱所危険物取扱者保安講習会	年	9回	受講申込み	128名
エ	その他の施設危険物取扱者保安講習会	年	16回	受講申込み	269名

## II 法人の目的を達成するために必要な事業

### 1 諸会議の開催

#### (1) 総会・理事会等の開催

ア	監事会計監査	(令和2年 4月17日)	さいたま市防災センター
イ	第17回理事会	(令和2年 4月24日)	令和元年度事業、収支決算報告(書面議決)
ウ	第6回通常総会	(令和2年 5月22日)	大宮ラフォーレ清水園
エ	第18回理事会	(令和2年10月22日)	上半期事業、収支中間報告(書面報告)
オ	新年賀詞交歓会	(令和3年 1月22日)	緊急事態宣言発出中(中止)
カ	表彰選考委員会	(令和3年 2月26日)	さいたま市防災センター
キ	第19回理事会	(令和3年 3月23日)	大宮ラフォーレ清水園

### 2 関係団体との緊密な連携

- (1) 埼玉県、消防局及び関係団体との連携を密にし、協会事業の円滑な推進を図った。
- (2) 全国の消防防災法人団体との情報交換を行った。

### 3 「会員増加」の促進を図る。

### 4 その他必要な事業

- (1) 新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
- (2) 会員に関する慶弔慰問